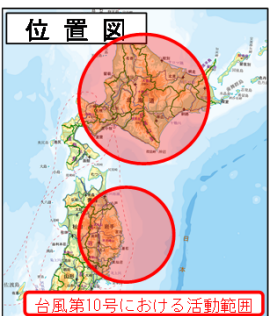


## II 平成28年台風第10号等一連の台風への派遣

- 台風第10号等一連の台風の接近により大きな被害が予想された市町村等に対し、台風上陸前からリエゾンを派遣し、被災状況の把握や支援ニーズの把握等を実施。
- 北海道開発局、東北地方整備局に加え、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国地方整備局からTEC-FORCEを派遣。北海道18市町村、東北10市町村において、自治体の所管施設等の被害状況調査を実施し、9/16までに全ての首長等に調査結果を報告。
- 台風第10号では、河川の氾濫等により県管理道路が通行不能となり多くの孤立集落が発生した岩手県岩泉町等へTEC-FORCEを集中的に投入し、県とも連携して全力で道路啓開や流出した道路の応急復旧を進め、9月13日まで地域の幹線である4国道（国道455号、340号、281号、106号）の通行を確保。 県道や町道の道路啓開・応急復旧を進め、ヘリによる救出等も進んだ結果、当初、解消まで数ヶ月とされた岩泉町、久慈市の孤立は、災害発生から1ヶ月で全ての孤立が解消。
- 浸水解消のため、被害の発生した北海道南富良野町や岩手県宮古市など67市町村において、排水ポンプ車、照明車、衛星通信車等を派遣し、24時間体制で排水活動を実施。
- 台風10号では、二次災害を防止するため、8市町において、7日間で土砂災害の被災状況調査を実施（岩泉町69箇所など、102箇所で土砂災害を確認）し、首長等へ報告、助言。



▼台風第10号における北海道・東北地方への派遣人数（のべ人数）

